

# 植樹式 2018



時の蘇生・柿の木プロジェクト

3月16日		モンターネの記念公園 ..... 1 イタリア・ペルージャ県・モンターネ市
3月22日		アルフレード・シオンディ図書館 ..... 2 イタリア・ミラノ県・カッサーノ・ダッダ市
3月23日		スクーリ小学校 ..... 3 イタリア・ベルガモ県・ベルガモ市
3月26日		A. マンゾーニ小学校 ..... 4 イタリア・ヴァレーゼ県・ヴェネゴーノ・インフェリオレ市
3月27日		マルコ・ポーロ総合学校 チェーザレ・グアスティ小学校 ..... 5 イタリア・プラート県・プラト市
3月		カミニョーネ小学校 ..... 6 イタリア・ブレシア県・パッシラーノ市
4月20日		バズメット農園 ..... 7 イタリア・ミラノ県・ミラノ市
4月20日		S. アントニオ小学校 ..... 8 イタリア・ピアチェンツァ県・ピアチェンツァ市

# モンターネの記念公園

 イタリア

 ペルージャ県・モンターネ市

 2018年3月16日

植樹式の前に、モンターネ市内すべての小中学校では「柿の木の物語」を読み、「平和の種」と題した取り組みが始められています。

各学校では、互いに尊重し合う精神文化を育むための企画、市民権と人権に関する教育プログラム、平和に関するビジョンを表現したアート作品コンクールを継続的に実施します。この企画は農作実験の課程にも取り入れられ、生徒たちは柿の木の世話についても学習しています。

柿の木はタイムカプセルとともに、見晴らしの良い丘の上に子どもたちの手によって植えられました。



# アルフレード・シオンティ図書館

 イタリア

 ミラノ県・カッサーノ・ダッダ市

 2018年3月22日

記憶の継続、平和文化の普及と推進を目的とした活動を進める、  
パッサート・プロッシモ・オニス協会による植樹申し込みにより、  
町の図書館の庭に柿の木が植えられました。

図書館のボランティア読書グループ、バウレ・マジコのメンバー  
によって子どもたちに向けた平和のための読書会が開催されまし  
た。読書会の後は子どもたちそれぞれの平和の木に対する考えを  
表現するアートワークショップを行いました。

木の周りにはそれぞれが持ち寄った野菜や果物の皮を撒き、その  
上から土をかけていきました。

10周年のお祝いの際には、若者が樹木と平和についての物語を書  
き、文学コンクールを催す予定です。



# スクーリ小学校

 イタリア

 ベルガモ県・ベルガモ市

 2018年3月23日

日本文化の普及に関連した社会貢献活動を行う、「こころ一日本文化協会」の周年記念行事として、病院で過ごしている子どもたちと一緒に柿の木を植えたいと申し込みをしてくれました。

植樹式に先駆けて、2月26日と28日の二日に渡ってベルガモ市内のスクーリ小学校の6つのクラスで、柿の木プロジェクトの紙芝居を使用しながら平和や、柿の木のお話、また折り紙で柿の実作りを行いました。



3月19日には、音楽高校スアルディの学生たちによる街中での4回にわたるフラッシュモブを実施しました。

3月21日、ベルガモ市議会議長のマルシア・マルケージのイントロダクションと「長崎と柿の木」と題した、ジャーナリスト写真家のピエールジョルジョ・ペスカーリによる講演会の模様。ベルガモ市の講演会会場にて。

3月23日には、ベルガモ市スクーリ小学校での柿の木植樹式が行われました。

# A. マンゾーニ小学校

 イタリア

 ヴァレーゼ県・ヴェネゴロー・インフェリオーレ市

 2018年3月26日

第一次世界大戦ではこの町でも多くの死者があり、自由と家族、平等と兄弟愛、そして平和への願いが生まれました。その終戦から100年が経ちます。この機会に被爆柿の木2世を植樹し、あのような出来事と第二次世界大戦末に投下された原爆の悲劇を忘れないための証としたいとの思いから、申し込みをさせていただきました。



10年後には植樹に関わった全員を招き、植樹式を回想するとともに、子どもたちが彩色した石を柿の木の周りに並べ、忘れない気持ちを表現し、記憶し続けることを確認します。



# マルコ・ポーロ総合学校 チェーザレ・グアスティ小学校

🇮🇹 イタリア  
📍 プラート県・プラト市  
📅 2018年3月27日

マルコ・ポーロ総合学校は3歳から14歳までの子どもたちが通い、イタリア以外の19か国の国籍を持つ子どもが65%を占める、多様な民族と言語の生徒が集まる学校です。文化や言語が異なる生徒たちが多数在籍する学校において、柿の木が共同・希望・平和の象徴となるとの思いで植樹が実現しました。

柿の木の世話は毎年選ばれたクラスの生徒・教師・保護者からなる「柿の木の友達委員会」によって行われ、10年の間より多くの生徒たちがプロジェクトに関わるようにします。

生徒たちは植樹式の数か月前より柿の木と平和をテーマにした活動を展開し、植樹式には生徒、教師、保護者、プラート市関係各所代表、学校の管理部が参加し、生徒たちは歌、詩の朗読、そしてダンスを披露しました。これによって平和の種をまくために日々具体的な行動をしていく意志を参加者全員に伝えました。また、子どもたちは平和への願いやメッセージをタイムカプセルに入れ、柿の木の近くに埋めました。これは10年後の10周年の式典の際に掘り起こされます。



# カミニョーネ小学校

🇮🇹 イタリア

📍 ブレシア県・パッシラーノ市

🌱 2018年3月



昨年3月にパッシラーノ市パデルノ地区で行われた（他の植樹地主催の）平和行進に参加したカミニョーネ地区の教師数名が、複数の学校、周辺地域を含む市民が一体となり平和への深い思いを共有する機会に触れ、今回の植樹の申し込みをしてくださいました。

植樹式までに、子どもたちは平和をテーマにポスターを制作し、それらの作品は展覧会として一般に公開されました。

植樹式には、地域住民や市の職員が招待され、生徒たちが歌やダンスを披露し盛大に開催されました。



# バズメット農園

🇮🇹 イタリア

📍 ミラノ県・ミラノ市

🌱 2018年4月20日

ミラノ市が所有するバズメット農園内の、園芸療法を目的とした学習農園に植樹されました。この農園の手入れに携わっている利用者は知的、及び運動障害のある16歳から70歳までの人々です。

柿の木は特別に作られた花壇の中心に植えられ、集まった地域の子どもたちや利用者らは順番に少しずつ土をかけていきました。植樹の他には折り紙のワークショップや平和のメッセージを添えた風船を飛ばし柿の木の一回目の「誕生日」を祝いました。



# S. アントニオ小学校



イタリア



ピアチェンツァ県・ピアチェンツァ市



2018年4月20日



4年生の日本人の生徒が柿の木プロジェクトについて話したところ、クラスメイトが共感し、このプロジェクトを学校全体に紹介することになりました。

柿の木は平和のシンボルとして5年生（小学校最終学年）から1年生へと託される“証人”となります。まず5年生が一年間世話をし、次の1年生に託していきます。

植樹式では、日本の自然、他社と尊敬する心、忍耐強さや粘り強さを中心とした日本の文化などをテーマにした工作作品が展示され、全校生徒だけでなく、地域住民も巻き込んで行われました。

10周年の記念には、成長した卒業生(21歳、16歳)と小学校修了生(11歳)が成長した柿の木の元に集うイベントを開催します。